

みのひろし後援会だより No.1



7月1日総会、盛会裏に終了
490名 参加



顧問：野村常雄県会議員



私が、ここにこうしている理由をお話します。

① 役場に行って相談したいが、門前払い。

トップに立つ人の第一条件は、「ひとの思いを聞くこと！」

「みのひろし」は、我々の思いを聞いてくれる。

② 我々は新町建設10年計画を必死になって作ったが、みごとに裏切られた。

「ある程度、新町建設計画に従って実行し、それなりのめどが立って、次の事業は始めるべきだ」そういう約束の上に合併したという思いがあるが、事業仕分けという手段を使って、やりたくない事業を仕分けにかけた。

③ 道の駅の問題、「当初3億円だった事業が、5割増」こんなことは、県内でも、まずない。新町建設計画にもない新しい事業だから、0から議論すべき問題だ。

今は、金が十分でない時代。

B/C（費用 Cost 対効果・利益 Benefit）を考え、選択していくことが大事。

議会の議論を聞いていても、「やってみんと後の採算はわからんよ・・・」というような答弁で、B/C がかなり甘い。県でも財政再建ということで、「かけた費用より効果の方が大きくないと事業はやるべきでない」という議論をしょっちゅうする。

町議会で、これがないがしろになるのは、はなはだ疑問だ。

④ この度の町議会の放送を聞いていてつくづく思うのが、「人間だれしも間違えることはある。その時に率直に謝ることができるかどうか。率直に責任をとれるかどうか。」というのが、トップに立つ人の大きな要素だ。

箕野さんという人は、真摯にやって来られ、57歳で「今の北広島町をなんとかしなければならぬ」と退職された。この意気込みですよ。人事に迷惑をかけない年度がわりに、奥さんと共に辞められた。ご夫婦がこれだけの重大決心をしてやられるという事は、逆にいえば、我々は絶対サポートしなければならない、ということです。

皆様の更なるご支援をお願いして、

さらにさらに輪を拡げていただきたいと心からお願いいたします。

顧問：前田達郎元豊平町長（山県東部合併協議会会長）

みのさんと私の出会いは、10年前。（合併の話がない時代）

千代田の青年連合会 OB 会主催「中山間地の未来—千代田はリーダーシップを果たせるか」というパネルディスカッションをした時です。当時私が山県郡の町村会長をしておりましてので、修道大学の日隈先生、元県知事の竹下虎之助さんたちと一緒に、参加しました。



合併特例債をどう使っていくか2年間、大変な議論をしました。

これは、合併した町村には「平成17年度～平成26年度の10年間、直接応援し7割を国がみてやろう」という、合併のアメの部分です。17年2月に合併し、あと3年間しかありません。

我々が議論し合ったことが、今、空中分解！大変残念です。

北広島町は、財政的に非常に厳しゅうございます。最近国も、総務省が中心になって、一般の会社でもやっとりましますような**財政健全化計画、連結決算**というのを法律でやらなければなりません。北広島町は、平成19年度の決算が、**全国市町村の内、下から12番目**。もうちょっと下手をすると夕張のようになる状況になりました。非常に厳しい中で、合併建設計画で協議していない新しいことをする。

道の駅は「完成したら、1年で6億の売り上げがある。」と言っていますが、豊平の道の駅の状況から考えて、いくら千代田の舞ロードが条件がいいと言っても、これは**なかなか至難の業**ですよ。**率直に言わせてもらって、つめが甘い。**もうちょっと実態分析をしっかりと計画しないと、結果として町民の皆さんに負担がかかってきます。

勇気を持って立ち上がった、非常に腰の低い箕野さん、私は、彼の生きざまを見て、安心しております。支援をしてあげてください。顧問も一生懸命になっております。北広島町は、これからなんです。新しい人が出て、民主主義の基本理念である、皆さんの意見を大切に、「**町民と共に**」これが**大事**なんです。職員と一体になっていく町でないといけません。

行政は、**県と町が深く結びついていかないと、よその町から遅れます。**

「北広島町」は「広いね」では自慢にならない。

「美しいね」「心温かいね」という言葉がほしいです。

講演：「山里からの伝言」～中国山地を取材して～ 島津邦弘氏（元中国新聞編集局長）

1980年から4年間、千代田支局で楽しく仕事をさせてもらいました。

みのさんが青年会長だった1981年の文化祭は実に感動的でした。武一騒動を勉強し、大道具・小道具をつくり、見事な舞台をみせてくれました。彼は、ぼうっとしてつかみどころがないように見えて、人を動かす力、統率力を感じました。



中国山地を歩いて、一番気になったのが平成の大合併

です。合併は財政的理由から進められたが、拙速に過ぎた。このたび「**地域の人に、マイナスに作用する合併は間違いだ**」という目で中国山地を歩きました。昭和の大合併から50年余り、その間に旧村の垣根を取り払い、やっと町らしくなったところで行われたのが平成の大合併です。

2010年に実施した合併建設計画をめぐる**事業仕分け**では「実施」はゼロ。「再検討」が**わずかで、あとは「凍結」**でした。建設計画の一部をまな板の上に乗せて、大学教授（元県総務部長）が座長で、シンクタンクの人とか税理士さんが、妥当性を判断した。町はそれを隠れ蓑にして、町民を説得する材料にしたわけです。

ところが「再検討」だったはずの**事業「舞ロード」**が動いている。「**プール**」も姿を変えて整備されようとしている。プールが不要だとは思わない。でも物事には優先順位があります。千代田以外の町民の多くは、いまの町政は優先順位の選択が不明朗だと感じている。「**首長のおひざ元は後にして、周辺の地域をよくする。そうすれば全体がおのずとよくなる**」というのが、為政者がとるべき道です。

旧町にはそれぞれ顔がある。大朝町は、新庄学園、ふるさと病院、菜の花プロジェクト……。芸北では、スキー場、農業基幹整備をして野菜づくり、（枕地域では、全国農業賞をもらったトマト、八幡ではハウレンソウ）、自然との共生。豊平の場合は、前田町長さんの時に、努力に努力を重ねて「そばの里」「どんぐり村」をつくった。

「合併建設計画にも書いてある通り、それをどうやって育て、伸ばしていくか」が最優先課題だと僕は思います。

学校とお寺がなくなったところの地域づくりは大変困難です。そんな現実に直面している所を、僕は見てきた。安芸高田市川根自治振興協議会という自治組織で、**いろんな工夫をして地域づくり**をやっている。農協の売店・ガソリンスタンドを自治会が引き取って地域で運営。学校のすぐそばに町営住宅を23戸建てて児童数を確保してきました。統合しなくても合同授業や山村留学など工夫すれば、統廃合とは違うやり方ができます。学校の統廃合は、地域と一緒に20年・30年後を念頭に置いて考えていく必要があります。

いま大事なのは**全域に広がる里山をどうするか**です。山に入るのはマツタケの季節だけというのではなく、里山を生かす施策が必要だ。これは緊急の課題だ。**それぞれ自分の問題として、フランクに議論する雰囲気**を作ることが大切だと思う。

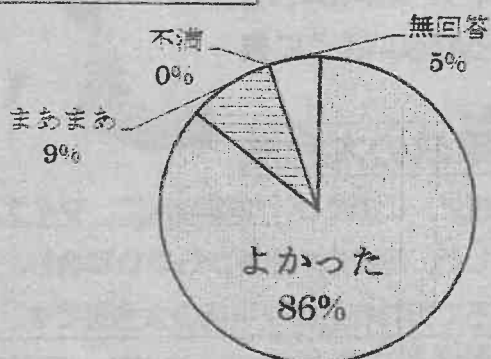


アンケート結果



「みのひろし」後援会総会では、おいそがしい中、次のように回答をお寄せいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。回収137枚 / 参加490名 (回収率:28%)

1 総会について



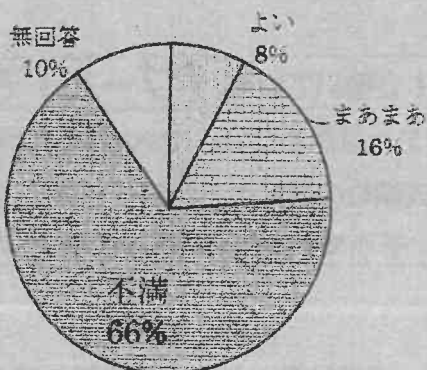
《よかった》

- よく集まった。感動・熱気があった。
- みのさんの人格や やる気がうかがわれた。
- 後援会役員・顧問の応援、心強い。
- 町の内情や問題点、大勢の期待が理解できた。
- うわすべりにならぬよう町民全員の結集を！

《まあまあ》

- みの本人の意見をもっと具体的に聞きたい。
- 若い世代の参加を！
- 駐車場不足
- 講演もっと聴きたかった。

2 現在おこなわれている町政について



《よかった》 記入無し

《まあまあ》

- 農業おきざり。高齢者による農家を救う方法は？
- 閉塞感。・高齢者住みよい町に。・交通網を考えよ。

《不満》

- 神楽殿（道の駅）採算あうか心配。やめよ。
- 大太鼓や温水プールも 納得できない。
- 無駄な金を使うな。・税の使い方一貫性がない。
- 税金高い。・派手な事業を独善的にやっている。
- きたひろネット4億円問題、和解おかしい。

- 中央ばかりがよくなる。隅々へ目を向けろ。・現町長は、千代田町長としての行政。
- 町長は人の言う事を聞かない独裁者。・町民とつながり、町民を大切にす政治を！
- 町職員多い。サービス業という認識をもって、仕事への真摯な取り組みをすべきだ。
- 国道433号線、改良が遅い。・物流団地の問題、不満。・町と農協、協力を！
- 若者が元気になる町にして！・学校の統廃合、住民の意見を聞け。・福祉の充実を！

3 これからすすめる「まちづくり」について (記入78件:57%)

設問2と重なる内容が多く寄せられたほか、「県と町は一体であるべき。」「充分な情報公開」「山里を宝に、明るいふるさとづくりを！」・・・などのご意見や期待の声がありました。今後の活動のエネルギーにしていきたいと思っております。ありがとうございました。

みのひろし 後援会 会長 亀岡章治 《事務所》 山県郡北広島町壬生13

TEL 0826-72-7026 FAX 72-7027 P 050-5812-6352 E-mail: minoh-kouenkai@khiro.jp

※ ぜひ、「みのひろし」後援会にご加入ください。 「みのひろし後援会」加入申込書

氏名	住所	電話
----	----	----